

第2回附特セミナー

徳島県立板野支援学校 教諭 岩崎淳子先生をお招きし、『問題行動への予防的対応と実践事例』と題して、第2回の附特セミナーを行いました。

はじめに、応用行動分析の考え方（ABC分析）を使って、子どもの行動を理解することからはじめ、適切な行動を増やす支援の仕方や子どものできる！わかった！を増やす環境作りについてお話していただきました。



応用行動分析とは

行動の前後を分析することでその行動の目的を明らかにし、前後の環境を操作して問題行動を解消する分析方法

A（先行事象：Antecedent）

いつ
どこで
何を
だれに
状況は？



B（子どもの行動：Behavior）

どうした？
何をした？



C（結果事象：Consequent）

どうなった？
周りの対応は？



できる環境作り

子どもの行動を理解、適切な行動を増やす支援等のお話の後、小グループで、子どもの行動のABCを整理し、問題の推定原因と解決策を考える演習を行いました。

1. 行動のABCを考える
2. たくさん原因推定する

ルール

- ・必ず「～だから」「～ないから」という書き方
- ・推定の正誤をしない

3. 解決策を考える

ルール

- ・解決策の正誤を検討しない
- ・たくさん考える



グループ演習の様子と参加者の声



自分の実践を振り返り、基本的なことが大切だと改めて感じた。演習が短い時間で具体策まで導くことができ、本校のケース会議で実践できると思った。

【支援学校 教諭】





2学期からさっそく実践したいものを
たくさん教えていただきました。
問題行動に対する対策方法もグループの
先生方と話し合っ、いろんな支援の
仕方があることが分かりました。

【小学校教諭】



初めて参加しましたが、具体的にどのようにしたらいいのか、
取り組んでみようと思う内容が沢山あり、大変勉強になりました。
グループワークでも、色んな視点から考えてみたり、意見
発表があったり、考えさせられました。

【保育園 保育士】



小学校、中学校、支援学校から参加された24名の皆様から感想、今後取り上げてほしいテーマ
などについてご意見をいただきました。

今後の附特セミナーに反映させていただきたいと思います。
ありがとうございました。

*第3回附特セミナーは、12月23日（月）開催予定です。